

令和 2 年度

福野中部まちづくり協議会 総会書面議決資料

議案 1 号 平成 3 1 年度 事業報告

議案 2 号 平成 3 1 年度 決算報告並びに監査報告

議案 3 号 規約改正(案)

議案 4 号 役員(案)

議案 5 号 令和 2 年度 事業計画(案)

議案 6 号 令和 2 年度 予算(案)

## 平成 31 年度 事 業 報 告

- ・環境整備事業(防犯灯 LED 化 33 箇所、掲示板整備 3 箇所)
- ・生活環境事業(用水修復事業 2 箇所)
- ・振興事業(伝統産業再生事業 福野縞)
- ・広報発行(隔月 5 回)
- ・クリーンアップ事業(延べ約 100 名参加)
- ・事務局会議(原則毎週水曜日)

【役員会】 3 回(6/7、10/10、4/17)

【運営委員会】 4 回(7/17、9/17、12/19、3/25)

【各部会会議】

道路・水路・ 環境整備部会	4 回 8/21、10/24 1/23、2/20	防災部会	6 回 5/21、6/25、10/17、 2/26
防犯・交通安全部会	3 回 8/26、1/23 2/20	地域活性化・ 空き家対策部会	6 回 8/29、10/6、11/14、 12/6、2/4、3/12
高齢者支援・ 介護予防部会	2 回 7/30、1/28	子育て支援部会	4 回 7/29、9/20、11/8、 1/31
生涯学習・ 人づくり部会	7 回 4/15、6/5、6/13、 7/17、9/30、2/21 3/14	伝統産業再生部会	1 2 回 毎月第 1 金曜日

月 日	事 業	内 容	場 所
4 月 20 日	防犯パトロール	月 1 回(4 月～11 月)	中部地区内
4 月 21 日	平成 31 年度総会	総会	産業文化会館
5 月 1・2 日	夜高祭休憩所運営、ミニ行燈展示		砺信職員駐車場等
5 月 17 日	中部公民館総会	総会	中部交流センター
6 月 10 日	福野中部地区社会福祉協議会総会	総会	中部交流センター
6 月 11 日	児童会との連携活動説明会		中部交流センター
6 月 12 日	武者絵教室(10 回)	8 名参加	中部交流センター
6 月 16 日	福野中部子どもを見守る会総会	総会	産業文化会館
6 月 21 日	文化財めぐり	26 名参加	福井県方面
6 月 22 日	四つ角人寄せ石フェスタ実行委員会	区長、事務局等参加	中部交流センター
7 月 4 日	おたっしや教室	11 月まで 全 11 回	福野体育館
7 月 7 日	軽スポーツの集い&カローリング大会	約 100 名参加	福野体育館
7 月 16 日	防災講演会	30 名参加 講師：気象台 大江幸治氏	産業文化会館
7 月 23 日	第 1 回防災訓練説明会	区長、事務局等参加	中部交流センター
7 月 27 日	福野四つ角人寄せ石フェスタ実行委員会全体会	区長、事務局等参加	中部交流センター
8 月 3 日	福野四つ角人寄せ石フェスタ	特別出演：おわら道場	銀行四つ角
8 月中	危険箇所点検調査	道路・水路の点検	地区内
8 月 10 日	第 2 回防災訓練説明会	防災組合長、区長等参加	中部交流センター
9 月 1 日	福野中部地区防災訓練		ヘリオス
9 月 14 日・15 日	文化祭	入場者数 433 名	ヘリオス
9 月 15 日	敬老会	約 230 名参加	ヘリオス
9 月 18 日	防災訓練反省会	防災組合長、区長等参加	中部交流センター
10 月 10 日	3 部会合同部会	地域食堂の計画	産業文化会館
10 月 14 日	歩こう・走ろう ふくの健康マラソン大会	延べ 201 名参加	旅川グラウンド 及び周辺道路
10 月 19 日	3 部会合同部会	地域食堂の計画	産業文化会館

11月17日	地域食堂 Aブロック	50名参加	浦町会館
11月24日	地域食堂 Cブロック	24名参加	七ツ屋地区会館
11月29日	区長会	区長、事務局参加	中部交流センター
12月1日	地域食堂 Bブロック	50名参加	横町会館
12月1日	しめ飾り教室	25名参加	産業文化会館
12月13日	地域食堂 Dブロック	50名参加	新町会館
2月1日	ミニ行燈教室	10名参加(4月まで)	産業文化会館
2月16日	ケアネット説明会・区長会	区長、事務局参加	中部交流センター

【関連団体事業参加】

月 日	事 業	内 容	場 所
4月24日	南砺市福野地域自治振興連絡協議会総会	会長出席	福野庁舎
5月14日	南砺市地域づくり協議会連合会総会	会長出席	城端庁舎
7月3日	第1回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	福野タウンホテル
7月12日	南砺市地域づくり協議会連合会第1回勉強会	会長出席	地域包括支援センター
7月16日	第2回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	福野庁舎
7月24日・25日	南砺市地域づくり協議会連合会県外視察	先進地域の視察	岡山県方面
8月3日	富山県西部地域自治会長会研修会	会長出席	高岡市ふれあいセンター
8月9日	第3回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	福野庁舎
8月19日	第4回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	福野地内一円
8月27日	南砺市「地域の困りごと解決移住促進事業」連携協定について	会長、事務局長参加	福野庁舎
9月24日	第1回南砺市福野地域審議会	会長出席	福野庁舎
10月7日	第1回地域円卓会議(防災)	会長、事務局長出席	福野庁舎
10月16日	第1回南砺市再生団地計画策定委員会	会長出席	福光庁舎
10月18日	第5回福野地域づくり連絡協議会・福野地域行政連絡会合同会議	会長出席	福野庁舎
12月5日	第6回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	福野タウンホテル
12月10日	第2回地域円卓会議(福祉)	地域指導員出席	地域包括ケアセンター
1月4日	南砺市消防団福野方面団初放水 第7回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	ヘリオス
1月15日	第2回南砺市再生団地計画策定委員会	会長出席	福光庁舎
1月24日	南砺市地域づくり協議会連合会第2回勉強会	会長、事務局長参加	城端庁舎
2月1日	第3回地域円卓会議(教育)	事務局長出席	ア・ミューホール
2月7日	第8回福野地域づくり連絡協議会連絡会議	会長出席	福野庁舎
2月10日	南砺市議会報告会	会長出席	福野体育館
2月14日	第2回南砺市福野地域審議会	会長出席	福野庁舎
2月26日	第3回南砺市再生団地計画策定委員会	会長出席	福光庁舎
3月23日	南砺市地域づくり協議会連合会第3回勉強会	会長、事務局長参加	地域包括ケアセンター

## 平成31年度(令和元年度) 福野中部まちづくり協議会 収支決算(一般会計)

平成31年4月 1日～令和2年3月31日

## 収入の部

(単位:円)

区分	科目	予算額	決算額	摘 要
交付金会計	前年度繰越金	0	0	
	市交付金	10,889,120	10,767,400	[内訳]地域づくり費¥5,300,000、生涯学習推進費¥733,000、社会福祉推進費¥303,000、推進人件費¥3,872,400、施設維持管理費¥259,000、事務局準備費¥300,000
	利息	0	24	9/22普通預金利息¥13、3/22普通預金利息¥11
	繰入金	0	43,102	一般会計から
	小計	10,889,120	10,810,526	
一般会計	前年度繰越金	2,493,412	2,493,412	自治振興会(一般)¥1,026,950+自治振興会(水利)¥697,451+地区社会福祉協議会¥182,468+公民館(活動費)¥335,112+公民館(維持管理費)¥251,431
	助成金	431,000	466,000	地区福祉活動助成金¥181,000、ケアネット型助成金¥250,000、地域食堂モデル事業助成金¥35,000
	会 費	841,500	836,400	(自治振興会費¥300+水利管理費¥300+公民館活動費¥250)×984世帯
	特別会費	80,000	68,000	総会会費 ¥2,000×34人
	補助金等	520,000	463,800	道路クリーンアップ¥263,800、防災訓練¥50,000、防犯協会¥40,000、スポーツ振興(ふくのスポーツクラブ)¥30,000、夜高連絡協議会(ニ行燈事業)¥80,000
	雑収入	294,968	774,954	コピー機賃料¥74,470、交流センター使用料¥25,000、福野綺売上¥491,900、おたっしや教室参加費¥3,500、ペ飾り教室参加費¥15,400、文化財めぐり参加費¥75,000、公民館総会特別会費¥30,000、謝礼金(商工会)¥10,000、武者絵材料費(城端中学)¥6,500、寄付金(福野中部婦人会)¥39,156、名刺印刷代¥4,000、預金利息¥28
	小計	4,660,880	5,102,566	
	合計	15,550,000	15,913,092	

## 区別会費内訳

第1区 51,000円	第2区 34,000円	第3区 72,250円	第4区 99,450円
第4-2区 41,650円	第5区 61,200円	第6区 34,000円	第7区 41,650円
第8区 64,600円	第9区 30,600円	第10区 56,100円	第11区 116,450円
第12区 28,900円	第13区 11,050円	第14区 25,500円	第15区 68,000円
合計 ¥836,400円			

## 支出の部

(単位:円)

部会	予算額	決算額	摘 要
道路・水路・環境整備部会	2,775,000	2,598,944	【交付金会計¥2,418,944】防犯灯設置¥435,002、掲示板設置¥126,770、水路整備¥429,572、会議費¥7,500、区長手当¥1,307,500、水利管理手当¥112,600 【一般会計¥180,000】市道クリーンアップ事業¥170,000、井堰神社神饌料¥10,000
防災部会	265,000	313,562	【交付金会計¥247,429】防災訓練¥62,507、消火栓訓練¥9,276、会議費¥15,646、助成金¥160,000(自主防災会¥160,000) 【一般会計¥66,133】防災訓練¥51,072、反省会¥15,061
防犯・交通安全部会	217,000	97,855	【交付金会計¥57,855】防犯ベスト等¥31,618、消耗品(LEDライト4個、乾電池)¥17,418、防犯カメラ電気料¥8,819 【一般会計¥40,000】防犯ベスト等¥40,000
地域活性化・空き家対策部会	1,015,000	593,972	【交付金会計¥577,472】人寄せ石フェスタ¥432,256、助成金¥145,216(福野町まちなみ美化実行委員会¥30,000、福野曳山保存振興会¥30,000、市観光協会¥10,000、福野地域友好協会¥10,216、市の里ガイト¥20,000、夜高連絡協議会¥40,000、食生活改善推進協議会¥5,000) 【一般会計¥16,500】人寄せ石フェスタ¥16,500

高齢者支援・介護 予防部会	979,000	810,518	【交付金会計¥330,709】敬老会¥280,170、ケアネット事業¥50,539 【一般会計¥479,809】ケアネット事業¥250,000、敬老会¥65,600、友愛訪問 ¥42,877、健康講座¥13,972、おたっしや教室¥7,000、地域食堂¥90,000 会議費(旧地区社協総会)¥10,360
子育て支援部会	265,000	240,540	【交付金会計¥240,540】マツト2セット¥76,770、輪投げ4セット¥63,770、助成金 ¥100,000(児童クラブ¥100,000) 【一般会計¥0】
生涯学習・人づくり 部会	900,000	794,724	【交付金会計¥529,427】軽スポーツ¥98,153、マラソン大会¥154,446、武者 絵教室¥21,000、ミニ行燈教室¥69,000、ペ飾り教室¥36,480、文化財めぐり ¥39,353、文化祭¥83,084、地域活性化事業¥17,197、研修費¥4,000、 写真代¥4,400、会場使用料¥2,314 【一般会計¥265,297】ミニ行燈教室¥80,000、文化財めぐり¥70,031、会合 費¥31,500、会議費(旧公民館総会)¥59,458、反省会¥24,308
伝統産業再生部 会	675,000	562,914	【交付金会計¥562,914】福野縞事業562,914(家賃¥369,156、整経・管巻料 ¥5,850、講師料¥60,000、縫製料・外注費¥120,030、出店料¥2,000、タグ製 作料¥1,700、商品袋¥1,928、謝礼¥2,250) 【一般会計¥0】
管理費(共通経費)	5,760,000	6,068,321	【交付金会計¥5,845,236】 <人件費関係>給与(3人)¥3,600,000、会長手当¥100,000、副会長手当(2人) ¥240,000、部会長・副部会長手当(14人)¥100,000、労働保険料¥24,840 <備品・什器関係>スチール棚¥9,980、ガラス戸棚¥38,772、電話機¥11,989 ファナーター¥29,160、灯油タンク¥42,790、パンフレットスタンド¥42,000、事務用椅子 3脚¥48,510、テント6張¥77,220 <パソコン関係>パソコン2台¥148,126、オフィスソフト¥34,466、セキュリティソフト¥13,117 パソコン設置設定作業¥33,000、パソコンネットワーク構築費¥133,920 <施設管理費関係>水道光熱費¥162,564(灯油代¥27,914、電気料¥124,105 上下水道料¥10,000、ガス代¥545)、NHK利用料¥49,160、電話料¥28,607、 消防用設備点検¥12,960、交流センター照明器具取替工事¥38,874、テレビ修 理¥14,904 <事務費関係>コピー機リース料¥165,024、コピーチャージ料¥208,263、通信費(葉 書)¥9,300、文房具¥90,855、コピー用紙¥29,378、インク代¥37,571、その他消耗 品及び雑費(19件)¥34,289、広報誌印刷代¥12,000 <会議・研修費関係>会議費¥19,610、研修費¥35,000 <保険料関係>公民館総合補償制度掛金¥50,916 <負担金関係>行政連絡会運営負担金¥83,756、夜高連絡協議会¥4,315、 生涯学習連絡協議会¥20,000、ふくのスポーツクラブ会費¥10,000 【一般会計¥223,085】会議費(総会飲食費)¥83,238、出張費¥12,300、会合費 ¥26,000、芝水クラブ会費¥8,000、式辞用紙¥972、雑費¥49,473(招魂祭玉串 料他¥15,199、秋葉大権現例大祭清酒¥5,199、筆耕料¥8,020、ピアノ調律 ¥5,760、近火見舞清酒¥5,295、謝礼金¥10,000)、繰入金¥43,102
予備費	2,699,000	0	
合計	15,550,000	12,081,350	

◎【交付金会計:(収入10,810,526円 - 支出10,810,526円)】+【一般会計:(収入5,102,566円 - 支出1,270,824円)】  
= 繰越金3,831,742円(令和2年度へ繰越(一般会計))

#### <別途積立金>

- 砺波信用金庫 定期預金(旧自治振興会) ¥1,013,408 (前期末¥1,013,322 + 定期利息¥86)
- 砺波信用金庫 定期預金(旧自治振興会) ¥700,388 (前期末¥700,328 + 定期利息¥60)
- 砺波信用金庫 定期預金(旧公民館/維持管理) ¥1,500,637 (前期末¥1,500,516 + 定期利息¥121)
- 砺波信用金庫 定期預金(旧公民館/記念誌積立) ¥1,102,631 (前期末¥1,102,542 + 定期利息¥89)

平成31年度(令和元年度) 福野中部まちづくり協議会 収支決算(特別会計:川田振興基金)

平成31年4月 1日～令和2年3月31日

- 砺波信用金庫 普通預金            ¥102,419 (前期末¥101,410 + 定期利息¥1,009)
- 砺波信用金庫 定期預金            ¥4,520,577 (前期末¥4,520,577 + 定期利息¥0)…利息は令和2年/8月計上予定

平成31年度(令和元年度) 福野町まちなみ美化実行委員会 収支決算


平成31年4月 1日～令和2年3月31日

- 砺波信用金庫 普通預金            ¥557,436 (前期末¥504,223 + 収入¥80,004 - 支出¥26,791)
  - ◎収入内訳…助成金¥80,000(内訳:福野中部まちづくり協議会¥30,000 + 福野夜高祭連絡協議会¥30,000 + 南砺市商工会¥20,000) + 普通預金利息¥4
  - ◎支出内訳…電気料金(福野市街地四つ角壁画) ¥26,791

**監査報告**

平成31年度(令和元年度)一般会計、特別会計及び福野町まちなみ美化実行委員会会計について、諸帳簿・領収証等を監査したところ、いずれも適正に処理され記載の通り相違ないものと認めます。

令和2年 4 月 / 8 日

監 事 清 島 健 

監 事 三 木 博 

## 福野中部まちづくり協議会規約(案)

### 第1章 総則

(名称及び事務所)

第1条 この会は、福野中部まちづくり協議会（以下「本会」という。）と称し、事務所を南砺市二日町1545番地13福野中部交流センター内に置く。

(会員)

第2条 本会の会員は、福野中部地区に居住する住民、及び本会の目的に賛同する地区内の事業所とする。

(目的)

第3条 本会は、会員相互の扶助並びに福利の増進を図るとともに、行政機関との協働により、自らの意志に基づいて地域社会の向上に努めることを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、第3条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 将来ビジョンの策定及びまちづくり計画の策定、評価、見直し
- (2) 住民ニーズの把握、収集
- (3) 道路、水路、防犯灯等の環境整備に関する事業
- (4) 防火、防災に関する事業
- (5) 防犯、交通安全に関する事業
- (6) 地域の活性化、空き家対策に関する事業
- (7) 高齢者支援、介護予防に関する事業
- (8) 子育て支援に関する事業
- (9) 生涯学習、人づくりに関する事業
- (10) 伝統産業再生に関する事業
- (11) 広報による活動の周知
- (12) その他目的達成に必要な事業

### 第2章 役員

(役員)

第5条 本会に、次の役員を置く。

- |          |                     |
|----------|---------------------|
| (1) 会 長  | 1 名                 |
| (2) 副会長  | 2 名                 |
| (3) 事務局長 | 1 名                 |
| (4) 総 務  | 若干名（地域指導員、地域づくり支援員） |
| (5) 理 事  | 16名（区長）             |
| (6) 運営委員 | 16名（部会長、副部会長）       |
| (7) 監 事  | 2 名                 |
| (8) 顧 問  | 若干名                 |
| (9) 相談役  | 若干名                 |

総務、理事、運営委員に  
当たる担当を明記した。

(役員の選出)

第6条 役員の選出は、総会において選任する。

2 監事と会長、副会長及びその他の役員は、相互に兼ねることができない。

(役員の職務)

第7条 会長は、本会を代表して会務を統括する。

2 副会長は、会長を補佐する。会長に事故あるときは、副会長は共同してその職務を代行する。

3 事務局長は、会計、総務・庶務、広報等の事務を処理する。

4 地域指導員は、事務局長を補佐する。

5 理事は、本会の重要な方針、計画等につき意見を述べ、運営に当たる。

6 部会長は、担当部会の運営に当たる。

7 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代行する。

8 監事は、本会の業務及び会計を監査する。

9 顧問及び相談役は、会長の諮問に応じ、また意見を述べる。

10 役員は、連帯して業務遂行の責を負う。

部会長、副部会長は何度末まで部会運営に携わる必要があるため条件を整えた。

(役員の任期)

第8条 役員の任期は1年とし、再任を妨げない。ただし、役員が区長又は各種団体長の場合は、その在任期間とする。**ただし、部会長、副部会長においては当該年度末までの任期とする。**

2 役員に欠員が生じたときは、補充することができる。この場合、補充された役員の任期は、前任者の残任期間とする。

昨年度は、組織図に役員会がなく、運営委員会であった。組織図に役員会を加え、運営委員会は、会長、副会長、部会長、副部会長、地域づくり支援員、事務局で構成する(組織図 p12 参照)

### 第3章 会議

(会議の種類)

第9条 本会の会議は、総会、**役員会、運営委員会**、部会とする。

(会議の構成)

第10条 総会は、会員の代表者をもって構成する。なお、会員の代表者とは以下をいう。

①本会の役員

②前任区長

2 役員会は、第5条で定める役員をもって構成する。ただし、監事を除く。

**3 運営委員会は、会長、副会長、運営委員、事務局長、総務をもって構成する。**

**4 部会は、部会長、副部会長、部員をもって構成する。**

### 第4章 総会

(総会の種別)

第11条 総会は、通常総会と臨時総会とする。

2 通常総会は、毎年度決算終了後3ヶ月以内に開催する。

3 臨時総会は、会長が必要と認めたとき、又は全役員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示して請求があったときに開催する。



(総会の招集)

第 12 条 総会は、会長が招集する。

2 総会を招集するときは、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の 5 日前までに通知しなければならない。

(総会の定足数)

第 13 条 総会は、役員 の 2 分の 1 以上の出席がなければ開会することができない。但し、委任状が提出された場合は、出席したものとみなす。

(総会の議長)

第 14 条 総会は、会長が議長となり審議を行う。

(総会の権能)

第 15 条 総会は次の事項を議決する

- (1) 事業報告及び収支決算に関すること。
- (2) 事業計画及び収支予算に関すること。
- (3) 役員の選任及び解任に関すること。
- (4) 規約の制定改廃に関すること。
- (5) その他本会の運営に係る重要事項に関すること。

(総会の議決)

第 16 条 総会の議事は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(総会の議事録)

第 17 条 総会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 出席者総数、並びに出席した役員数及びその定足率
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果

2 議事録には、議長及びその会議において選出された議事録署名人 2 名以上が署名押印しなければならない。

## 第 5 章 役員会

(役員会の種類)

第 18 条 役員会は、定時役員会と臨時役員会とする。

2 定時役員会は、第 5 条で定めた監事を除く役員全員が出席して開催する。ただし、顧問、相談役を除くことができる。

3 定時役員会は、第 21 条に定める事項を議決する。

4 臨時役員会は、適時、会長及び副会長が必要と判断した役員を招集し、会務の執行予定等の審議を行う。

(役員会の招集)

第 19 条 役員会は、適時、会長が招集する。

2 役員会を招集するときは、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の 5 日前までに通知しなければならない。ただし、会長が緊急に開催する必要があると認めたときは、この限りではない。

(役員会の議長)

第 20 条 役員会は、会長が議長となり審議を行う。

(役員会の権能)

第 21 条 定時役員会は次の事項を議決する

- (1) 総会で議決した事項の執行に関すること。
- (2) 総会に付議すべき事項に関すること。
- (3) その他総会の議決を要しない会務の執行に関すること。

2 第 15 条に定める事項につき、急施を要するものについては、定時役員会で議決の上執行し、会長はこれを次の総会において報告し、承認を求めなければならない。

(役員会の議決)

第 22 条 定時役員会の議事は、出席した会員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(役員会の議事録)

第 23 条 定時役員会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 出席者総数
- (3) 開催目的、審議事項及び議決事項
- (4) 議事の経過の概要及びその結果

新たに運営委員会の詳細を明記した。

## 第 6 章 運営委員会

(運営委員会)

第 24 条 運営委員会は、会長、副会長、運営委員、事務局長、総務が出席して開催する。

2 運営委員会は、会務の執行に関する事項について審議する。

(運営委員会の招集)

第 25 条 運営委員会は、適時、会長が招集する。

2 運営委員会を招集するときは、会議の目的たる事項及びその内容並びに日時及び場所を示して、開会の 5 日前までに通知しなければならない。ただし、会長が緊急に開催する必要があると認めたときは、この限りではない。

## 第67章 部会

(部会)

第2426条 部会は、区長、各種団体の団体長や構成員、及び当該分野に知見のある者等からなる部員をもって構成し、互選により部会長、副部会長を選出し役員会で承認を得る。但し、部会長及び副部会長の選出に当たっては、原則、満65歳を年齢の上限とする。

- 2 部会は、適時、部会長が招集する。
- 3 部会長は、事業計画、収支予算を策定し役員会に諮る。
- 4 部会長は、事業計画を実行し、事業報告、収支決算を行い役員会に諮る。
- 5 部会長は、会議録を作成し、資料とともに事務局長に提出する。

(部会の種類)

第2527条 部会は、次の8部会とし、その主たる事業は次の通りとする。

- (1) 道路・水路・環境整備部会  
道路、水路等の補修、防犯灯、防犯カメラの設置、道路の掃除、及び融雪等の環境整備に関する事業
- (2) 防災部会  
防火及び防災等に関する事業
- (3) 防犯・交通安全部会  
防犯及び交通安全等に関する事業
- (4) 地域活性化・空き家対策部会  
地域の活性化及び空き家対策等に関する事業
- (5) 高齢者支援・介護予防部会  
高齢者の支援、及び介護予防等に関する事業
- (6) 子育て支援部会  
子育て支援等に関する事業
- (7) 生涯学習・人づくり部会  
生涯学習、スポーツ、交流、人づくり及び地域史学習等に関する事業
- (8) 伝統産業再生部会  
福野縞の再生、伝承等に関する事業

事業を進めるには、部会員だけでなく、いろいろな方の協力を得ながら進めた。その協力員の方の位置づけをするために加えた

第28条 部会には、運営協力者を置くことができる。

## 第78章 会計

(経費)

第2629条 本会の経費は、会費、交付金、補助金、寄付金及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会費)

第2730条 会員は、総会において別に定める会費を納入しなければならない。

(賃金及び手当)

第2831条 交流センター管理者及び地域指導員については、雇用契約を締結の上、南砺市の定める基準の賃金を支払う。

- 2 役員の手当については、役員会で決定し、総会で報告する。

(事業年度及び会計年度)

第 ~~20~~32 条 本会の事業年度及び会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 3 1 日に終わる。

(事業報告及び収支決算)

第 ~~30~~33 条 本会の事業報告及び収支決算は、事業年度終了後、収支計算書及びその年度末の財産目録とともに、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(事業計画及び収支予算)

第 ~~31~~34 条 本会の事業計画及び収支計画は、総会の議決により定める。

## 第~~8~~9章 雑則

(書類及び帳簿の備え付け)

第 ~~32~~35 条 本会は、その事務所に、次に掲げる書類及び帳簿を備え付けなければならない。

- (1) 規約
- (2) 役員に関する書類(役員名簿)
- (3) 会議議事録
- (4) 収入及び支出に関する帳簿及び証拠書類
- (5) 各事業年度末の収支決算書
- (6) 事業計画書及び予算書
- (7) その他必要な書類及び帳簿

2 前項の書類及び帳簿につき、会員より閲覧の請求があった場合には、正当な理由が無い限り閲覧に供さなければならない。

(細則)

第 ~~33~~36 条 役員会は、この規約を実施するにあたって、必要がある場合には、細則を定めることができる。役員会は、細則を定めたときは、次の総会に報告し、承認を得なければならない。

## 附則

(施行期日)

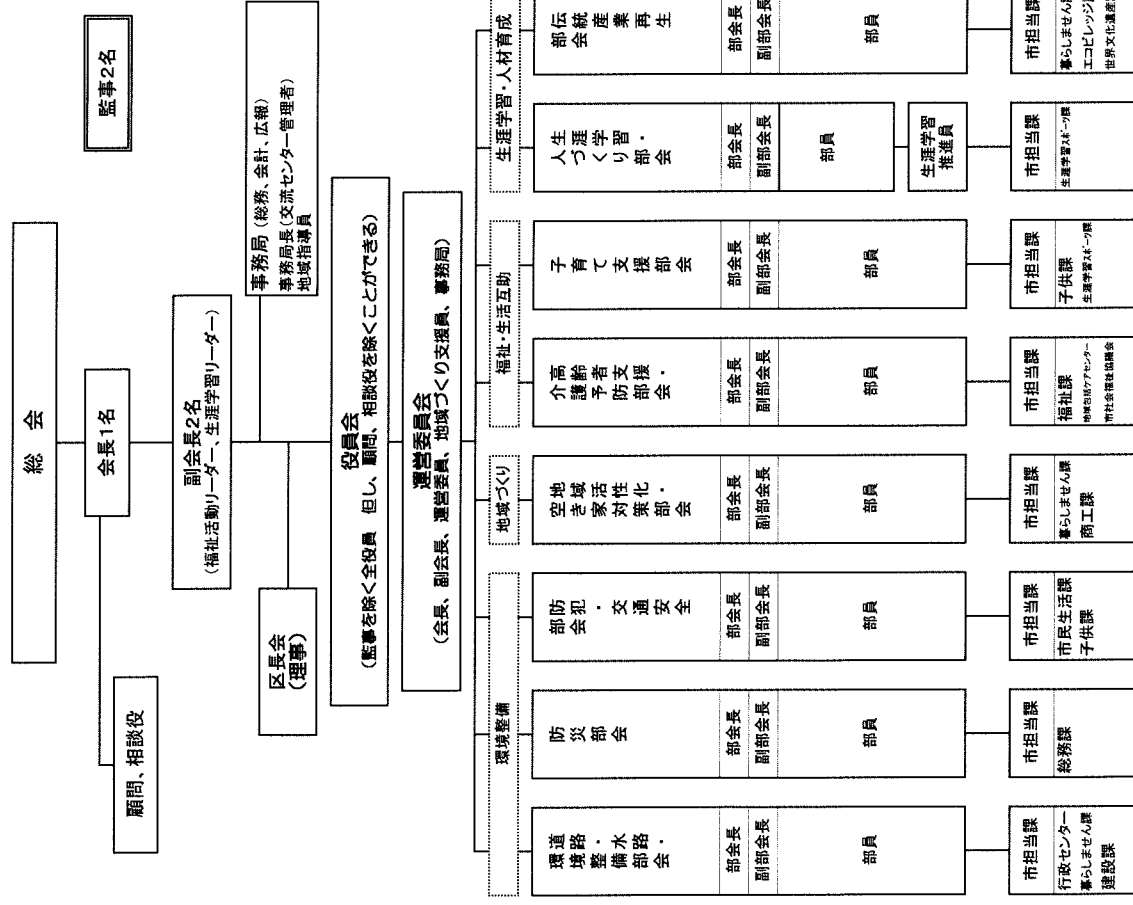
- 1 この規約は、平成 3 1 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この規約は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

(経過措置)

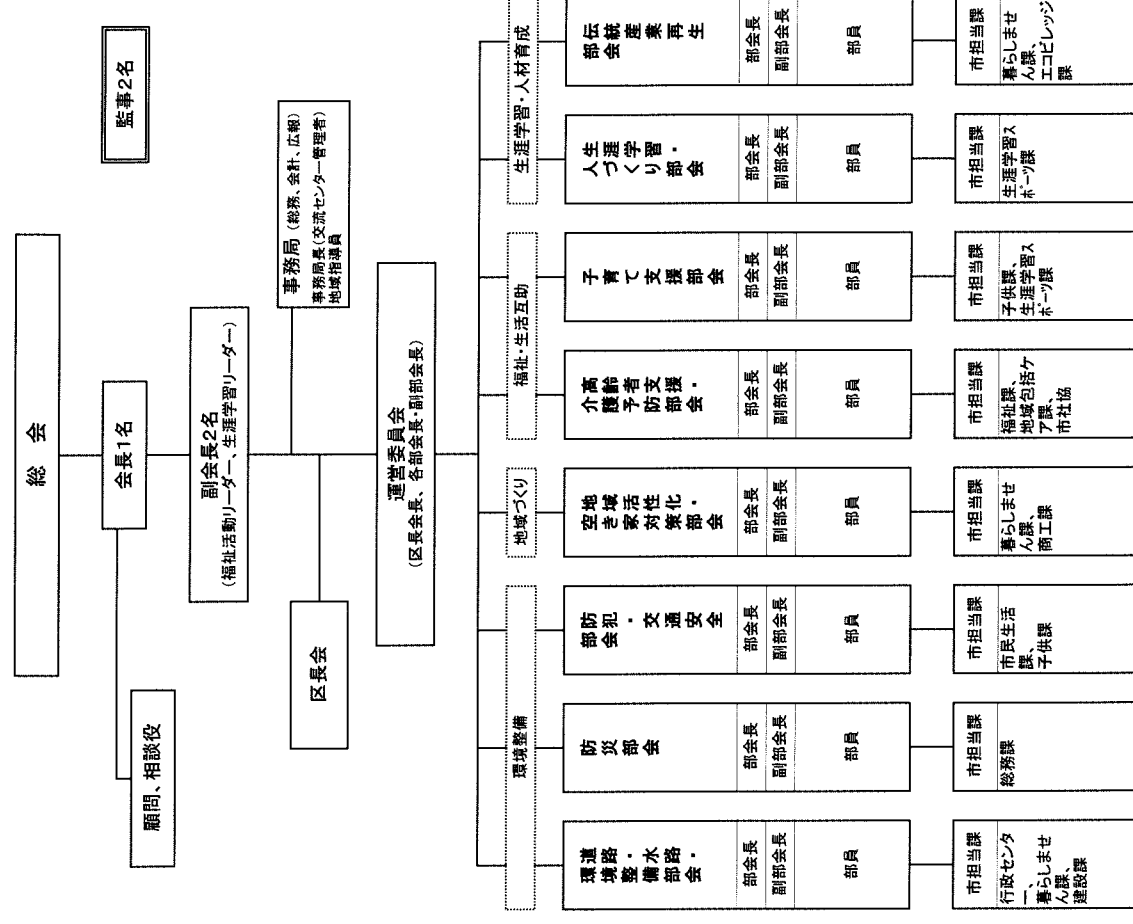
~~3~~3 この規約の適用に伴う経過措置については、役員会の議決を経て別に定める。

福野中部まちづくり協議会 組織図(案)

(新論)



福野中部まちづくり協議会 組織図(平成31年度)



## 令和 2 年度 事 業 計 画

- ・総会      ・役員会      ・運営委員会      ・各分会      ・事務局会議  
 ・環境整備事業      ・生活環境事業      ・クリーンアップ振興事業      ・広報発行  
 ・ホームページ更新

月 日	事 業	内 容	場 所
年 4 回 (各月 20 日)	防犯パトロール	(4 月、6 月、 8 月、12 月)	中部地区内
4 月 26 日	令和 2 年度総会	総会	産業文化会館
5 月 1・2 日	夜高祭休憩所運営、ミニ行燈展示		砺信職員駐車場等
5 月～12 月	福野織機織体験・販売	イベントに合わせて	旧有川呉服店等
5 月	福野中部子どもを見守る会総会	総会	産業文化会館
6 月	児童会との連携活動説明会		中部交流センター
6 月	ホタルを見に行こう		
6 月	文化財めぐり		
6 月	武者絵教室		中部交流センター
6 月	健康教室	高齢者対象	
7 月	軽スポーツの集い&カローリング大会		福野体育館
7 月	防災講演会		
7 月～10 月	地域食堂		
8 月 1 日	福野四つ角人寄せ石フェスタ		銀行四つ角
8 月	スキヤキパレード協力		銀行四つ角
8 月	危険箇所点検調査	道路・水路の点検	地区内
9 月	福野中部地区防災訓練		
9 月	文化祭		産業文化会館
9 月 20 日	敬老会		ヘリオス
10 月	福野昔話を聞く会		
11 月	防災勉強会		
11 月	町内ウォーク		
11 月	体を動かそう		
11 月	区長会		中部交流センター
12 月	しめ飾り教室		中部交流センター
2 月	ミニ行燈教室		産業文化会館
2 月	ケアネット説明会・区長会		中部交流センター
3 月	餅つき大会		すぱーく福野

## 【関連団体】

- ・南砺市地域づくり協議会連合会      ・福野地域づくり連絡協議会連絡会  
 ・富山県西部地域自治会長会      ・南砺市福野地域審議会      ・地域円卓会議  
 ・南砺市消防団福野方面団      ・南砺市再生団地計画策定委員会  
 ・南砺市生涯学習連絡協議会      ・福野地域生涯学習連絡協議会

## 収入の部

(単位:円)

区分	科目	予算額	摘 要
交付金会計	前年度繰越金	0	
	市交付金	10,614,400	[内訳]地域づくり¥5,308,000、生涯学習¥732,000、社会福祉推進¥303,000、推進人件費¥3,872,400、施設維持管理¥359,000、地域事業¥40,000
	利息	20	普通預金利息
	繰入金	45,000	一般会計から
	小計	10,659,420	
一般会計	前年度繰越金	3,831,742	
	助成金	466,000	地区福祉活動助成金¥181,000、ケアネット型助成金¥250,000、地域食堂モデル事業助成金¥35,000
	会 費	833,000	¥850×980世帯
	特別会費	70,000	総会会費¥2,000×35人
	補助金等	410,000	道路クリーンアップ¥260,000、防犯協会¥40,000、スポーツ振興(ふくのスポーツクラブ)¥30,000、夜高連絡協議会(ミニ行燈事業)¥80,000、
	雑収入	285,030	コピー機貸料¥70,000、交流センター使用料¥25,000、福野綿売上¥100,000、べ飾り教室参加費¥15,000、文化財めぐり参加費¥70,000、名刺印刷代¥5,000、預金利息¥30
	小計	5,895,772	
	合計	16,555,192	

## 支出の部

(単位:円)

部会	予算額	摘 要
道路・水路・環境整備部会	2,600,000	環境整備¥350,000、道路水路整備¥600,000、市道クレーンアップ¥170,000、区長手当¥1,300,000 水利管理手当¥140,000、会議費¥20,000、その他経費(神饌料他)¥20,000
防災部会	600,000	防災訓練¥100,000、防災講演会・会議費等¥50,000、防災関連備品¥100,000、消火栓格納箱(助成)¥170,000、会議費¥20,000、 <u>助成金¥160,000</u> (自主防災会¥160,000)
防犯・交通安全部会	100,000	防犯ベスト・帽子¥50,000、防犯カメラ電気料¥10,000、会議費¥20,000、その他経費¥20,000
地域活性化・空き家対策部会	640,000	人寄せ石フェスタ¥400,000、大市販い創出¥50,000、昔話を聴く会¥20,000、会議費¥20,000、 <u>助成金¥150,000</u> (まちなみ美化¥30,000、曳山保存¥30,000、観光協会¥10,000、友好協会¥10,000、夜高連絡¥40,000、市の里¥20,000、食改¥5,000他)
高齢者支援・介護予防部会	1,030,000	敬老会¥310,000、ケアネット事業(サロン助成等)¥310,000、健康教室¥270,000、地域食堂¥80,000、友愛訪問¥40,000、会議費¥20,000
子育て支援部会	370,000	事業費(ホタル見学、体を動かそう)¥110,000、連携(アルカス、家守舎)¥40,000、遊具¥100,000 会議費¥20,000、 <u>助成金¥100,000</u> (児童クラブ¥100,000)
生涯学習・人づくり部会	990,000	軽スポーツ¥120,000、武者絵教室¥30,000、文化財巡り¥50,000、地域活性化¥120,000、町内ウォーク¥170,000、文化祭¥150,000、べ飾り教室¥55,000、ミニ行燈・田楽教室¥140,000、餅つき大会¥50,000、スキャパレード協力¥50,000、会合費¥30,000、研修費¥5,000、会議費¥20,000
伝統産業再生部会	580,000	家賃¥370,000、講師料¥60,000、整経・縫製料他経費¥130,000、会議費¥20,000
管理費(共通経費)	5,424,000	<人件費関係>給与等(3人)¥3,630,000、会長手当¥100,000、副会長手当(2人)¥120,000 部会長・副部会長手当¥120,000、事務補助謝金¥120,000 <備品関係>パソコン¥120,000、ネットワーク構築費¥100,000 <施設管理費関係>水道光熱費¥160,000、NHK¥50,000、電話¥30,000、消防点検¥13,000 <事務費関係>コピー機リース料¥65,000、コピーチャージ料¥200,000、通信費¥10,000、広報誌印刷代¥12,000、文房具¥60,000、コピー用紙¥30,000、インク代¥25,000、その他経費¥30,000 <会議・研修費関係>会議費¥30,000、研修費¥35,000、出張費¥15,000、会合費¥25,000 <保険料関係>公民館総合補償制度掛金¥85,000 <負担金関係>行政連絡会運営負担金¥60,000、HP維持管理負担金¥40,000、生涯学習連絡協議会¥20,000、夜高連絡協議会¥4,000、ふくのスポーツクラブ会費¥10,000 <雑費>その他雑費¥60,000、繰入金¥45,000
予備費	4,221,192	
合計	16,555,192	

## 川田振興基金会計規則

- 第1条 本会系は、川田商工振興基金会計より引き継いだ500万円の管理・運営について定める。
- 第2条 本会計は、故川田忠雄氏のご遺志にもとづき福野中部まちづくり協議会の事業目的達成と伝統文化の継承発展のため活用する。
- 第3条 第2条の目的達成のため、毎年10万円を限度に支出し使用できる。ただし、限度額を超え支出する事業がある場合は、福野中部まちづくり協議会の総会決議を受け使用することができる。
- 第4条 本会は、毎年福野中部まちづくり協議会の会計監査受け総会に報告する。
- 第5条 本会計は、資金の枯渇をもって廃止とする。

附則 この会計規則は、平成31年4月1日より施行する。

※平成16年 9月24日制定

※平成31年 4月 1日一部改正



## 福野中部地区水利管理に関する要綱

- 第1条 本要綱は、福野中部まちづくり協議会規約（以下「規約」という）第4条の事業達成のため定める。
- 第2条 本事業達成のため、規約第25条の（1）道路・水路・環境整備部会が中心となり、福野中部水利管理委員会（以下「委員会」とい）を設置する。  
委員会の招集は、福野中部まちづくり協議会会長の承認を得て、委員会の長が行う。
- 第3条 委員会は、福野中部水利改良期成同盟会（S36年～H12年）事業の一部を引き継ぎ、地域内の快適で安全な生活環境確保のため、次の事業を行う。  
（1）防水害・防火消防に関する管理事業  
（2）生活用排水の管理に関する事業  
（3）前述（1）（2）に関する提案、陳情の処理  
（4）その他、生活排水に関する必要事業
- 第4条 委員会の役員は以下の通りとする。委員長、副委員長、事務局長は各区から選任された水利管理委員による。さらに、水門調整管理者を置く。  
水利管理委員長 1名  
水利管理副委員長 2名  
水利管理委員 12名（但し、必要により増員も可）  
他に若干名＝消防団員及び必要関係者  
水利管理事務局員 1名  
水門調整管理者 約30名（水利管理委員と兼務も可）
- 第5条 各区から選任された水利管理委員・水門調整管理者は、常に担当する用水路の水量に気を配り、水門、堰板などの管理に当たる。
- 第6条 役員の任期は特に定めない。欠員の都度、区長が補充する。
- 第7条 水利管理委員の水門調整管理者には、年間5,000円の管理手当を支給する。
- 第8条 本要綱は、福野中部まちづくり協議会の総会において改廃することができる。

附則 この要綱は、平成31年4月1日より施行する。

※平成16年11月 1日制定

※平成18年 5月10日一部改正

※平成19年 5月10日一部改正

※平成31年 4月 1日一部改正

## 福野中部地区防犯組合規則

- 第1条 この防犯組合は、福野中部地区防犯組合と称し、事務所は福野中部交流センター内に置く。
- 第2条 この防犯組合は住民相互の活動によって犯罪を防止し、福野中部地区から犯罪を出さない、犯罪を許さない明るい地域社会の構築を目指すことを目的とする。
- 第3条 この防犯組合は、福野中部まちづくり協議会規約第25条の（3）防犯・交通安全部会が中心となり設置し、福野中部地区に居住する者をもって組織する。
- 第4条 この防犯組合は第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。  
（1）防犯意識の普及、高揚に関すること。  
（2）防犯パトロールに関すること。  
（3）その他目的の達成に必要なこと。
- 第5条 この防犯組合に次の役員を置く。なお、組合長は防犯・交通安全部会の部会長が就任する。  
（1）組合長 1名  
（2）副組合長 若干名  
（3）理事 約20名  
（4）総務 1名
- 第6条 役員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。なお、欠員により就任した役員の任期は前任者の在任期とする。
- 第7条 会議の招集は、福野中部まちづくり協議会会長の承諾を得て、組合長が行う。
- 第8条 この防犯組合は、毎年南砺市防犯協会へ事業報告及び会計報告を行わなければならない。当該報告の事業年度及び会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第9条 この規則は、福野中部まちづくり協議会の総会において改廃することができる。

附則 この規則は、平成31年4月1日より施行する。

※平成19年 5月10日一部改正  
※平成24年 4月28日一部改正  
※平成29年 4月21日一部改正  
※平成31年 4月 1日一部改正

## 福野中部子どもの安全を見守る会規則

### (名称)

第1条 この会は、福野中部子どもの安全を見守る会と称する。

### (目的)

第2条 この会は、子どもたちが犯罪や事故の被害者とならないように守ることを目的とする。

### (活動内容)

第3条 この会は、前条の目的達成のため、つぎの活動を行う。

- (1) できるだけ下校時の変更の際に対応できるよう連絡を密にし、より効果があがるよう心がける。
- (2) 子ども達に対する危険情報(防犯、防災)の収集に努め、危険が予知された場合は関係機関と連絡協議し、素早く対策を講じると共に全会員に周知徹底する。
- (3) 地区の安全・安心に関する事柄についても、地区民全体に啓蒙をはかり、明るい住み良い地区となるよう寄与する。
- (4) その他、目的達成に必要な活動。

### (組織)

第4条 この会は、福野中部まちづくり協議会規約25条の(3)防犯・交通安全部会が中心となり、地区全域より参加の協力会員、福野中部まちづくり協議会(含む地区内全区長[防犯連絡所])、民生児童委員、PTA地区委員長等によって組織する。

### (役員)

第5条 この会につぎの役員を置く。なお、会長は防犯・交通安全部会の部会長が就任する。

- |             |      |
|-------------|------|
| (1) 会長      | 1名   |
| (2) 副会長     | 若干名  |
| (3) 理事(連絡員) | 約20名 |
| (4) 事務局     | 1名   |

2 会長は、この会を代表し、会務を総理する。

### (任期)

第6条 役員の任期は1年とする。ただし再任は妨げない。

- 2 役員に欠員が生じた場合は、補充により就任した役員の任期は前任者の残任期とする。
- 3 協力会員の任期は特に定めない。

### (会議)

第7条 会議は全体会及び役員会とする。

- 2 全体会は、役員及び協力会員で構成する。なお、全体会は、年1回以上開催し、役員の改選、規則の変更などを行う。
- 3 役員は、活動状況及び効果、その他について協議する。

### (議長)

第8条 会議の議長は、会長がこれにあたる。

### (細則)

第11条 この規則に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則 この規則は平成31年4月1日から施行する。

※平成18年 2月19日から施行する。

※平成24年 5月26日 一部改正

※平成31年 4月 1日一部改正

# 福野中部自主防災連絡会規約

## (目 的)

第1条 この会は、住民相互の精神に基づき、南砺市福野中部地区（以下「福野中部」という）の自主防災会相互の連携協力により、地震、風水害、火災、その他の災害（以下「地震等」という）による被害の防止と軽減を図ることを目的とする。

## (名称及び位置付け)

第2条 この会は、福野中部自主防災連絡会と称し、福野中部自治振興会の防災部門として位置付ける。

2. 地震等の災害時には、役員により福野中部地区災害対策本部に切り替える。

## (会員及び役員)

第3条 この会は、福野中部地区内の自主防災会の会員をもって構成する。

2. この会には次の役員を置く。役員の任期は1年とする。ただし再任は妨げない。

(1) 会長は、福野中部自治振興会会長を以ってあてる。

(2) 副会長は、関係団体の代表者及び会長が指名する。(若干名)

(3) 代表委員及び連絡員は各自主防災会より1名選出する。

(4) 事務局は、会長が指名する。(若干名)

## (事務局)

第4条 この会の事務局を福野中部公民館内（南砺市福野二日町 1545-13、22-1660）に置く。

## (事 業)

第5条 この会は、第1条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 南砺市および他の機関・団体と、福野中部自主防災連絡会との連絡協議に関すること。

(2) 防災の知識、及び技術の普及に関すること。

(3) その他目的を達成するために必要なこと。

## (会 議)

第6条 この会は、特に召集する場合を除いて、福野中部自治振興会の会議にあわせて開催する。

## (防災計画)

第7条 この会は、福野中部の減災のために防災計画を作成する。

2. 防災計画は、次の事項について定める。

(1) 地震等の発生時に於ける本会の組織編制及び任務分担に関する事。

(2) 防災訓練の実施に関する事。

(3) その他の必要な事項。

(4) 本部組織図は別表1参照

## (事業年度)

第8条 事業年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

附則 この規約は、平成19年7月20日より発効する。

※平成29年4月21日一部改正

※平成30年4月21日一部改正

この規約の改正については、福野中部自主防災連絡会が行うこととする。